

千葉商大 鳥取県支部報

2021年(令和3)年11月1日
第22号
千葉商大同窓会鳥取県支部
支部長 森尾邦夫
事務局 千683-0051 米子市勝田町16
TEL0859-33-7002
cuc-tottori.com



コロナ渦の中で

支部長 森尾邦夫

昨年は年明けからコロナウイルス感染が始まり、世界中や国内において大混乱になりました。

我々の仕事にも生活においても大きな影響を受け、今年においても政治の不手際や混乱によってさらに感染拡大が続いてきました。ここにきてようやく落ち着いては来ましたが、第6波の感染拡大が懸念されます。

公私ともに行動が制限されて同窓会及び支部の活動も停止状態です。昨年の支部総会は書面決議となり、今年の支部総会は何とか開催しようと模索しましたが、残念ながら中止とさせていただきます。又年会費のお願いもそのように致します。各支部とも活動や総会の開催は

困難な状況だと伺っています。

同窓会では、一昨年に鳥取県支部二十周年総会に出席いただいた勝田同窓会長が退任され、新しく高橋伸治氏(昭和五十二年商卒)が新会長に就任されました。

大学では、実学主義の教育理念からコロナ禍の中でも八割近くの授業を対面授業として実施できたようです。また初めての「千葉商科大学統合報告書」を発行して母校の特色や強み、ビジョン、取り組み等を広く発信しています。このほか大学Webサイトには、大学の近況や学生のような活動の様子が掲載されています。近年の母校の評価や実績が、よく分かるので見られたらいいと思います。



千葉商科大学
千葉商科大学 統合報告書 2021より



簿記
チャンピオン大会
主催:資格の学校TAC
全国 第1位
2020年11月大会にて、団体戦1級の部で「瑞總會A」チームが1位を獲得

アクティブ・ラーニング
プロジェクト実施件数
(2019年度)
87件
企業、行政、NPOなどの協働、学内で飲食店を出店・経営するなど、さまざまな取り組みを実施

教育

十月二十三日付けの朝日新聞に掲載されました。

世界も注目「脱石炭」の旗手

環境NGO「気候ネットワーク」国際ディレクター・理事

平田 仁子 特別客員准教授

いつも非対称の闘いに挑んできた。目指すは地球温暖化に歯止めをかけること。化石燃料から風力や太陽光など再生可能なエネルギーへの転換を一刻も早く、意見する相手は政府や電力会社をはじめとする大企業。ちっぽけなNGOの言い分は、そうやすやすと聞き入れてはもらえない。

連戦連敗。それでも手を替え品を替え主張を繰り返す。声高に叫ぶのではなく、膨大な資料を読み込み海外のNGOと情報交換し、戦略を練る。「さばさばとした性格なので」と涼しい顔で言うが、「見えないところでもものすごく周到に準備をしている」と同僚も舌を巻く。そんな粘り腰でこつこつと小さいながらも風穴をあけてきた。東日本大震災による事故で一斉に停止した原発に代わり、化石燃料の中でもとりわけ多くの二酸化炭素を出す石炭火力発電所の建設計画が相次いだ時もそうだった。企業や政府が情報を出し渋る中、2013年からキャンペーンを張り、仲間とともに新たな計画

が五十基に上ることを独自に調べ上げた。山が動いたのは四年後の十七年。一基、二基と計画を中止する発電所が現れた。手応えを感じつつ、でもこの程度でぬか喜びできない、と思っていたら、海外のNGOからは「やったね」と称賛の嵐だった。今では十七基の計画が撤回に。十分とは言えないが、「各国の温暖化対策の加速を促すパリ協定に企業や国が押された面もあるが、私たちが最初に声を上げたからこそ変化を起こせたと思う」と成果を誇る。

この功績が今年、草の根の環境活動家に贈られる「ゴールドマン環境賞」の受賞にもつながる。環境分野のノーベル賞と呼ばれる権威ある賞だが、自分一人での受賞に当初は辞退も考えた。「仲間や住民らが一緒に取り組んだおかげだから。でも、これでみんなが勇気づけられ、運動にはずみがつくならと考えを改めました」

目標を見定められずにいた学生時代。講義で聞いた、あるNGOの女性の言葉に心を揺さぶられた。

「日本を基準とするのではなく世界のものをさして物事を見て」。同じころ、ブラジルで地球サミットがあり、気候変動が焦点に。化石燃料によるエネルギーを大量生産・消費している私たち自身が地球の破壊者であることに衝撃を受け、この世界に入るきっかけとなった。気候変動問題の解決への道筋を政府間で話し合う国連主催の年次会合(COP26)が三十一日から英国グラスゴーで始まる。今回は脱石炭が焦点の一つ。各国NGOを束ねる組織のリーダーの一員でもあり、二週間の期間中、「交渉の行方からいつときも目が離せない」。

文 森治文
相場郁朗



全文は支部ウェブサイトをご覧ください。
尚、国連気候変動枠組条約第二十六回締約国会議(COP26)は、十一月十三日に閉幕しています。